

令和7年度生駒市総合計画審議会 全体会 第2回会議録

開催日時 令和7年6月17日（火） 15時～16時

開催場所 生駒市役所大会議室

出席者

（委員）久委員、高取委員、清水委員、森委員、田中委員、松山委員、鐵東委員、浦久保委員、中垣委員、堀部委員、塗本委員、水野委員

（事務局）牧井企画政策課長、粉家企画政策課主幹、白川企画政策課企画係長、高山企画政策課企画係員

欠席者 大谷委員、向委員、澤藤委員

議事内容

- 1 総合計画進行管理検証報告書について
- 2 第2期基本計画における戦略的施策に係る指標の目標値設定について
- 3 その他

【事務局】 （開会宣言、配布資料確認）

以下、発言要旨

- 1 総合計画進行管理検証報告書について

【事務局】 （資料2について説明）

【事務局】 全体的な課題以外にも、各進行管理検証シートにおける具体的な文章表現や施策目標の実現に向けて解決すべき課題の欄に今後の取組の方向性が含まれている等のご指摘をいただいた。この部分に関しては各担当課との調整が必要となり、修正に時間を要するため今回の検証報告書（案）には反映できていない。そういった部分に関する修正は、久会長にご一任いただいた上で後日確定し、審議会からの答申としたい。

【久会長】 まず各部会の様子について、部会長よりご報告いただきたい。

【高取委員】 事前資料が非常に多かったことや全体的に個別事業の細部にわたる指摘や

意見が多かったことから、評価を行うのが難しく感じた。ただ、各施策の進捗度の判定に関するご意見はなく、文言や文章表現の修正のみにとどまった。

【久会長】 第二部会も同様である。第2期基本計画から施策の数を減らしたことで、1つの施策の中に含まれる事業の数が増えたため、一つ一つの事業の話をすると施策全体の成果や課題が見えにくくなった。進行管理検証シートでは施策目標と事業との関連性が書ききれていないため、当該資料を読むだけでは全体のストーリーが理解できず、委員が想像しながら読みこなす必要があった。

また、全体的な課題にあるアウトプットについて、「散見された」と記載されているが、ほとんどがアウトプットだったと思う。次回以降、各担当課には施策目標の達成に各事業がどれだけ貢献したのかを十分意識していただきたい。かなり建設的な意見交換もできたので、今年度以降より充実した政策を進めていただきたい。

検証報告書については、最終的には市民に見ていただくため、各部会のアドバイスを受けて記載内容を書き直していただき、よりわかりやすくしていただきたい。

【清水委員】 6ページの「施策ごとの検証結果」の表にある市民実感度が、いつ実施した調査かがわかりにくい。市民実感度調査の説明に令和6年度と追記していただきたい。

【久会長】 本日の資料に対して今後修正いただき、最終的には事務局と私で調整し取りまとめてよろしいか。

【各委員】 （異議なし）

【久会長】 来年度に向けた要望等はあるか。

【高取委員】 進行管理検証シートの字が小さく読みづらい。行間やスペースの使い方を含め、市民に読んでいただく前提の資料になっていないと感じた。

【久会長】 当初想定していた文字の大きさと記載欄に収まるよう端的に記載していただき、来年度は読みやすい報告書にしていいただきたい。

2 第2期基本計画における戦略的施策に係る指標の目標値設定について

【事務局】 （資料3について説明）

【久会長】 戦略的施策4の指標2は複雑な計算をしているように感じる。例えば中央値等のシンプルな指標でよいのでは。

【事務局】 別の計算式を使う方法もあると思うが、生駒市では一般企業等でも採用されているネットプロモータースコア（NPS）と呼ばれる指標化の手法を採用している。これを直接市の取組に運用するのは非常に厳しい基準となるため、生駒市では修正 NPS として計算式を緩和した計算方法としている。

【久会長】 推奨者は加点、批判者は減点として計算するため、中央値でも同じような結果になると思う。複雑な計算をすることで何がわかるのか。この数値をもとに施策の改善ができるのか。一番使いやすく効果が出る指標にするべきだと思うので、改めて検討いただきたい。

【鐵東委員】 戦略的政策2における指標1の策定時の数値 14.6%から、どのくらい努力すれば目標値の 16.4%に到達するのかが分かりづらい。

【事務局】 令和6年度より前の市民実感度調査の推移を示せば、目標達成の難易度をご判断いただけたと思うが、今は具体的な数字を持ち合わせていない。全世代が今回の平均値である 14.6%以上となることを目指し、令和9年度時点の全体の平均値を 16.4%にしたいという考え方である。

【鐵東委員】 そのハードルは高いのか。

【事務局】 例えば世代別の現状値で一番低い数値が 60 代の 9.5%であり、目標達成に向けては 5.1 ポイント上げる必要がある。どの世代をターゲットに力を入れていくべきか意識し取り組んでいきたい。

【久会長】 平均以下の世代をターゲットにしている意図は何か。その論理的根拠があれば説得力が出る。数値が一番高い 10・20 代をターゲットに数値をより上げていく戦略もある。

人口構成を踏まえたコーホートという考え方がある。現在の 30 代以下の数値は高いことから、この世代は地域で人間関係を構築し、地域で動こうと考える人が増えていると推測される。10 年経つと 10・20 代が 30 代に入ってくるため、数値が一挙に上がるという考え方もできる。論理的な施策展開として、どう考えるのか、一考の余地はあると思う。

【事務局】 進行管理の指標としては数的管理を行っているが、指標の数値を伸ばすことだけが目的ではない。やはり市民全体に対して成果を上げる必要があるため、平均以下の結果となっている年代の数値を上げることで全体の成果につなげることが重要だと考えている。

【久会長】 数値を上げていく根拠が必要である。その根拠に基づいて政策展開、事業展開されると思う。どの数値を上げていくのか具体性がある方が良いと思う。

【事務局】 なぜその戦略を取るのかをもう少し説明できるよう考えたい。

【高取委員】 現状値の 14.6%はどう解釈すればいいのか。事務局としてはどのように考えているか。

【事務局】 令和 6 年度の市民実感調査で初めて設けた設問であるため、生駒市において比較対象がない。他市の数値等が把握できれば、14.6%がどう評価されるか判断できると思うが、現状は把握できていない。

【高取委員】 どのような根拠があってこの数値を目指すべきなのか、数値が何%であれば十分だと言えるのか、誰も判断ができないのは違和感がある。

【久会長】 生駒市として 14.6%では不十分だと感じているのか。何%上げれば状況がどう変わるのかという実感が無い限り、他市と比較する等の問題ではない。どれぐらいになれば良しとするのか。

【事務局】 少子高齢化が進み、市の業務も増える中で今後は行政資源がかなり少なくなってくる。互助や共助を進めなくてはならないと認識しているため、より多くの市民に住民同士で支え合うことができていると感じてもらうことは重要である。

【久会長】 地域共生社会推進全国サミットのように地域の活動に取り組む人たちが繋がる方がいいのか、住民同士で支え合うことができる方を増やす方がいいのか。何が効果的かを見定めると、何に取り組むべきかがより具体的に見えてくと思う。40 代から 60 代の数値を全体平均まで引き上げるという単純な考えでは不十分だと思うので、もう一度検討いただきたい。

【鐵東委員】 各世代の回答者数の分母が異なっても計算は合うのか。

【久会長】 数値的には問題ないと思う。ただ、回答者の質に偏りはあるかもしれない。

【高取委員】 全市民に対してアンケートを送付して、これだけの回答者数だったのか。

【事務局】 令和6年度市民実感調査においては 3,000 人を対象にアンケートを送付し、1,582 人から回答があった。

【高取委員】 各年代の回答率も 50%ぐらいか。

【事務局】 3,000 人の抽出方法は人口構成に応じて、無作為で抽出する層化無作為抽出という手法で行っている。

【久会長】 全体数では統計的に有意だが、世代別グループで分けたときに必ずしも統計的に有意であるとは言えない場合もある。

【事務局】 市全体の人口構成に合わせて対象者を抽出するため、10 代や 20 代を切り取って見たときに、統計的に有意かと言われると信頼性に欠ける部分はあると思う。ただ、市民全体としては有意だと認識している。

【堀部委員】 目標値の設定について、きりよく 10%上げるほうが良いのでは。

【久会長】 戦略的施策は分野を超えた施策を繋いで効果を出すため、緻密に戦略を立てる必要がある。住民同士で支えることができている人を増やすために、具体的に何と何をどう繋いでいけば、数値が上がるのかを検討すべきである。今回、様々なご意見が出たので事務局で精査していただき、成果が上がるような目標値を事務局で改めて検討いただきたい。

なお、検証報告書が確定次第、資料 1 に添付して答申とさせていただくが、文言等で何かご意見はあるか。

【各委員】 （異議なし）

【久会長】 では今後私と事務局で報告書の修正、確認を行い、審議会からの答申として市長にお渡しする。予定していた案件は以上である。

3 その他

【事務局】 検証や記載方法については、次年度に向けて改善等を行い、より良い検証に繋げていく。

【久会長】 検証報告書については時間をかけてでも、十分に修正していただきたい。

【事務局】 （閉会宣告）